

機関番号：12301

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19720103

研究課題名（和文）サ変動詞の意味・用法の記述的研究

研究課題名（英文）A Descriptive Study on the Meaning and Uses of VN-suru

研究代表者

小林 英樹 (KOBAYASHI HIDEKI)

群馬大学・教育学部・准教授

研究者番号：60312865

研究成果の概要（和文）：

本研究は、サ変動詞の意味・用法を詳細に記述したものである。本研究では、次のような動詞クラスを分析した。

- ・建てること（新築（する）、増築（する）、……）
- ・除くこと（除去（する）、排除（する）、……）
- ・火がつくこと（発火（する）、着火（する）、……）
- ・直すこと（修理（する）、修復（する）、……）
- ・連れて行くこと、ついて行くこと（引率（する）、随行（する）、……）
- ・運ぶこと（運搬（する）、運送（する）、……）

研究成果の概要（英文）：

The purpose of this study is to describe the meaning and uses of VN-suru in detail. The verb classes described in this study are as follows:

- ・BUILD verbs (sintiku-suru, zoutiku-suru, ...)
- ・REMOVE verbs (jokyo-suru, haijo-suru, ...)
- ・IGNITE verbs (hakka-suru, tyakka-suru, ...)
- ・REPAIR verbs (syuuri-suru, syuhuku-suru, ...)
- ・ACCOMPANY verbs (insotu-suru, zuihan-suru, ...)
- ・CARRY verbs (unpan-suru, unsou-suru, ...)

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	200,000	60,000	260,000
2009年度	200,000	60,000	260,000
2010年度	400,000	120,000	520,000
年度			
総計	1,600,000	480,000	2,080,000

研究分野：日本語学

科研費の分科・細目：言語学・日本語学

キーワード：サ変動詞、漢語、意味、用法

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、これまで漢語サ変動詞（漢語動名詞）を中心に研究してきた。小林英樹（2004）『現代日本語の漢語動名詞の研究』（ひつじ書房）は、二字漢語サ変動詞（「読書（する）」、「殴殺（する）」など）、三字漢語サ変動詞（「再上陸（する）」、「映画化（する）」など）、四字漢語サ変動詞（「法律改正（する）」、「受注生産（する）」など）の語構成を詳細に分析したものであるが、その執筆の過程で、三字漢語サ変動詞、四字漢語サ変動詞の構成要素である二字漢語サ変動詞の意味・用法の記述がかなり遅れていることに気がついた。「集会があると共同募金の箱が回され、市民が快く募金する姿が見られる（朝日新聞 1987 年 1 月 30 日）」の「募金（する）」は、現行の国語辞典の記述（「寄付金などをつのること」）では捉えることができない。和語動詞に比べて、漢語サ変動詞（外来語サ変動詞）の分析は、かなり遅れている。

2. 研究の目的

研究の進展度に関する和語動詞と漢語サ変動詞（外来語サ変動詞）のアンバランスを解消するために、新聞などからデータを集め、サ変動詞の意味・用法を詳細に分析する。

3. 研究の方法

次のことを同時並行で行った。

- (1) サ変動詞のグループ分け
 - ・ 除くことを表すサ変動詞
除去（する）、排除（する）、
切除（する）、……
 - ・ 運ぶことを表すサ変動詞
運搬（する）、運送（する）、
搬送（する）、……
- (2) データの採取
サ変動詞（特に、漢語サ変動詞）が多く使われる新聞から、(1) で分けたグループごとにサ変動詞の実例を集める。
- (3) 先行研究の整理・検討
動詞の意味・用法に関する優れた研究である宮島達夫（1972）『動詞の意味・用法の記述的研究』（秀英出版）、柴田武他（1976）『ことば

の意味』（平凡社）などを検討する。

- (4) 情報収集
語彙に関する学会・研究会に参加し、情報収集をする。
- (5) 分析
(1)～(4)を踏まえて、(1)で分けたグループごとにサ変動詞を分析する。
- (6) 分析結果の発表

4. 研究成果

次のようなことを明らかにすることができた。

- (1) 建てることを表すサ変動詞について
①「増築（する）」には、(A) 今ある建物に付け加える「増築（する）」（「ビルは 69 年に鉄筋 4 階一部 3 階建てで造られ、5 年後に 4～7 階を鉄骨で増築した（毎日新聞 2003 年 3 月 17 日）」）、(B) 新しい建物を建てる「増築（する）」（「堺市緑町 3 丁の分工場も、現在の建物の隣に 3 階建ての建物を増築する（毎日新聞 2003 年 1 月 21 日）」）がある。
②一般の国語辞典では、「改築（する）」は、「建造物の全部、または一部をたてなおすこと」のように記述されている。しかし、「改築（する）」には、建て直しではなく、改修を表すものがある（「築 18 年の寮は今センバツ期間中に改築され元食堂や 48 人収容の大部屋も 3 人部屋になる（毎日新聞 2003 年 3 月 11 日）」）。改修を表す「改築（する）」は、「リフォーム（する）」と類義関係になる（「建て替えの話も出たが、峰岸さんは「家を残したい」という思いが強く、5 年前、内部をリフォームすることにした。外観と柱、梁（はり）はそのまま残し、棟続きの物置だった部分を峰岸さん夫婦、子供たちの生活の場に改築した（毎日新聞 1993 年 10 月 30 日）」）。
- (2) 除くことを表すサ変動詞について
①「除外（する）」には、ある範囲の中から動かして、ある範囲の外におく「除外（する）」、ある範囲の中に入れなくて、ある範囲の外におく「除外（する）」があるが、「排除（する）」についても同様である。「受け入れた以上、排除するのではなく、難民と共生する道を探すべきだ（毎日新聞 2003 年 11 月 20 日）」の「排除（する）」は、ある範囲の中から動かして、ある範囲の外におく「排除（する）」、

「改正案は難民をいかに受け入れるかでなく、いかに水際で排除するか重点を置いている（毎日新聞 2003 年 5 月 8 日）」の「排除（する）」は、ある範囲の中に入れないで、ある範囲の外におく「排除（する）」である。
②「また、県教委は藤村氏が関与した県内の旧石器遺跡 148 遺跡のうち、高森遺跡を含む 129 遺跡も旧石器時代の遺跡登録から削除する（毎日新聞 2003 年 3 月 29 日）」の「削除（する）」は「遺跡登録」から「高森遺跡を含む 129 遺跡」を取り除くこと、「だがその後、高森遺跡でもねつ造が確認され、県は今年 4 月、旧石器時代（約 1 万年以上前）の遺跡登録を削除した（毎日新聞 2003 年 5 月 19 日）」の「削除（する）」は「遺跡登録」を取り消すことを表している。

(3) 火がつくことを表すサ変動詞について
①「被告のやけどの場所などから、ガソリンにライターで着火しようとしたのは明らか（毎日新聞 2003 年 4 月 23 日）」では、デ格で標示された「ライター」がガソリンに火をつけるために使われているが、「ガス漏れに気づきバルブを閉める際、照明代わりにライターを着火し、引火させた疑い（毎日新聞 2003 年 3 月 10 日）」では、ヲ格で標示された「ライター」が「照明代わり」として使われている。
②「引火（する）」には、「火」を主語とし、燃えやすいものをニ格名詞句とする用法（「警視庁武蔵野署で原因を調べているが、東京ガスによると、マンション前の道路下からつながっているガス管が老朽化し、その修理工事中に何らかの火が漏れたガスに引火したらしい（毎日新聞 1993 年 2 月 1 日）」）、燃えやすいものを主語とし、「火」をニ格名詞句とする用法（「熱風がカウンター内から吹き出したことから、都市ガスが何かの火に引火したとみている（毎日新聞 1993 年 2 月 21 日）」）がある。このような交替があるので、「引火（する）」は、火がつくことを表すサ変動詞ではなく、（広い意味での）接触を表すサ変動詞と考えるべきかもしれない。

(4) 直すことを表すサ変動詞について
「修理（する）」、「修復（する）」の項の取り方の違いを明らかにした。
鍋を {修理/*修復} する。
耐熱タイルを {修理/修復} する。
鼓膜を {*修理/修復} する。
関係を {*修理/修復} する。
この分析は、次のようなデータに基づくものである。「鋳掛屋さんが鍋を {修理/*修復}

するのを小沢昭一少年が見物している和田誠の絵がまた楽しい（毎日新聞 1998 年 9 月 20 日）」、「宇宙遊泳で耐熱タイルを修理できないか（毎日新聞 2003 年 2 月 5 日）/……、軌道上での耐熱タイルの修復は不可能だという（毎日新聞 2003 年 2 月 3 日）」、「事故や病気で損傷した細胞や臓器を {*修理/修復} する再生医療が注目されている（毎日新聞 2003 年 5 月 29 日）」、「英国は欧州の一員として、関係を {*修理/修復} する宿命的な役割を負う（毎日新聞 2003 年 4 月 9 日）」。

(5) 連れて行くこと、ついて行くことを表すサ変動詞

連れて行くことを表すサ変動詞、ついて行くことを表すサ変動詞は、(A) 連れて行くことを表すサ変動詞（「引率（する）」など）、(B) ついて行くことを表すサ変動詞（「随行（する）」など）、(C) 連れて行くこともついて行くことも表せるサ変動詞（「同行（する）」など）に分類される。「帯同（する）」は、従来の国語辞典の記述（「一緒につれて行くこと」）では、(A) 連れて行くことを表すサ変動詞になるが、(C) 連れて行くこともついて行くことも表せるサ変動詞である。「日本国内では、今度の訪日に大統領が三大自動車メーカーの会長をはじめ、多くの経済人を帯同してくることに、違和感が出ている（朝日新聞 1991 年 12 月 21 日）」の「帯同（する）」は、連れて行くことを、「チームに帯同して札幌から帰阪したものの、練習には参加せず、西宮市内の病院へ直行（スポーツニッポン 2006 年 6 月 10 日）」の「帯同（する）」は、ついて行くことを表している。

(6) 『日本語の研究』の展望

『日本語の研究』の展望（「語彙（理論・現代）」）を担当し、2008-2009 年度の研究方向を把握することができた（和語動詞に比べて、漢語サ変動詞の研究が遅れていることが再確認できた）。

(7) 運ぶことを表すサ変動詞について

『類語大辞典』（講談社、2002）は、「「運搬」「運送」「輸送」の順で運ぶ規模が大きくなり、その距離も長くなることが多い」と述べているが、あくまで傾向と考えるべきだろう。「実用化は 2040 年ごろとされるが、宇宙空間に建造する発電設備は重量 2 万トンにもなるため、ロケットなどで何度も資材を運搬しなければならず、建造費用は 2 兆円以上とも試算される（毎日新聞 2003 年 11 月 23 日）」、「ロシア宇宙局管制センターによると、宇宙

ステーション「ミール」が 17 日、科学実験器具や燃料などを輸送した貨物船「プログレス M39」とのドッキングに成功した（毎日新聞 1998 年 5 月 18 日）」が示すように、地球から宇宙に運搬することも輸送することもできる。「トロッコ電車は、黒部川の電源開発のため、作業員や資材を運搬するのが目的だったが、今では観光に重点が置かれる電車にさま変わり（毎日新聞 1998 年 8 月 20 日）」の「作業員」の移動距離が「それに加えてスカイマークは満席だと 309 人もの乗客をバスで輸送しなければならない（毎日新聞 1998 年 9 月 22 日）」の「乗客」の移動距離より長くても、不思議ではない。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 7 件）

①小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「運搬（する）」、「運送（する）」などをめぐって－、『語学と文学』47、28-38、2011、査読無

②小林英樹、語彙（理論・現代）、『日本語の研究』6-3、43-50、2010、査読有

③小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「引率（する）」、「随行（する）」などをめぐって－、『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』59、1-8、2010、査読有

④小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「修理（する）」、「修復（する）」などをめぐって－、『語学と文学』46、1-10、2010、査読無

⑤小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「発火（する）」、「着火（する）」などをめぐって－、『語学と文学』45、22-32、2009、査読無

⑥小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「除去（する）」、「排除（する）」などをめぐって－、由本陽子・岸本秀樹（編）『語彙の意味と文法』くろしお出版、65-84、2009、査読無

⑦小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「新築（する）」、「増築（する）」

などをめぐって－、『語学と文学』44、1-8、2008、査読無

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小林 英樹 (KOBAYASHI HIDEKI)
群馬大学・教育学部・准教授
研究者番号：60312865